

Logitec ディスクフォーマッタ ユーザズガイド 目次

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	2
ユーティリティの概要	4
製品の特徴	4
使用環境について	5
起動と初期設定	6
ハードディスクをフォーマットする場合	10
1. 再フォーマット	11
2. 未フォーマットディスクのフォーマット	14
2.1 ウィザードを使用する場合	14
2.2 ウィザードを使用しない場合	17
3. 複数の区画に分けてフォーマット	20
4. 初期化と削除	25
M0 メディアをフォーマットする場合	27
1. フォーマット手順	28
2. リカバリーについて	31
メニューについて	33
アンインストール方法	37
お問い合わせについて	40

ご使用の前に必ずお読みください。

ロジテックソフトウェア使用权許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。添付ソフトウェアプログラムのインストールを開始する前に、本契約書をよくお読みください。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2. 著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱いいただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3. 規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。
- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。
- (4) お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出し使用することをしてはならないものとします。

4. 保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限ります。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限ります。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5. 免責

- (1) 弊社は本ソフトウェアを運用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6. 解約

- (1) 本契約の有効期間は、本契約成立時から、本ソフトウェアの使用を停止するまでとします。
- (2) お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合は、または本ソフトウェアの著作権を侵害した時、弊社は本契約を解除し、お客様の本ソフトウェアのご使用を終了させることができます。

7. その他

- (1) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

ユーティリティの概要

製品の特徴

ディスクフォーマッタには、以下のような特徴があります。

- ・ 簡単な操作でフォーマットが可能です。
- ・ フォーマット作業が非常に高速です。
- ・ MO メディアおよび SCSI 接続タイプのハードディスクの物理フォーマットが可能ですので、新規購入したメディアやトラブルの発生したメディアをフォーマットする際に安心です。
- ・ MO メディアに関してはリカバリー（復元）が可能となっておりますので、誤ってフォーマットをしてしまった場合、フォーマット直後であればデータを元の状態に戻すことが可能です。



ご注意

- ・ ディスクフォーマッタは以下の機器を処理の対象としています。

ハードディスク、MO ユニット

- ・ ディスクフォーマッタで MO メディアをフォーマットした場合、MO メディアは「FAT16/32 形式」でフォーマットされます。
 - ・ ディスクフォーマッタでハードディスクをフォーマットした場合、拡張 MS-DOS 領域でフォーマットされます。従って起動ドライブとしては使用できません。
-

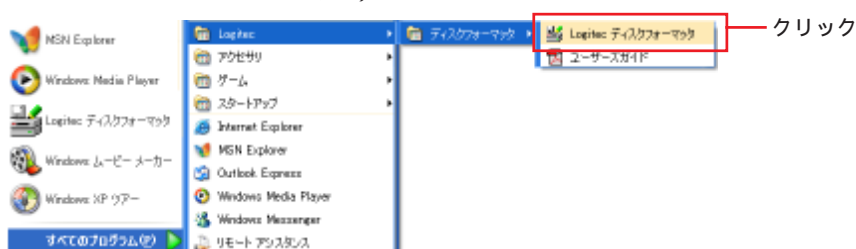
使用環境について

本製品は以下の環境でご使用になることができます。

Windows 7
Windows Vista
Windows XP
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 95
Windows 2000 Professional
Windows NT 4.0

起動と初期設定

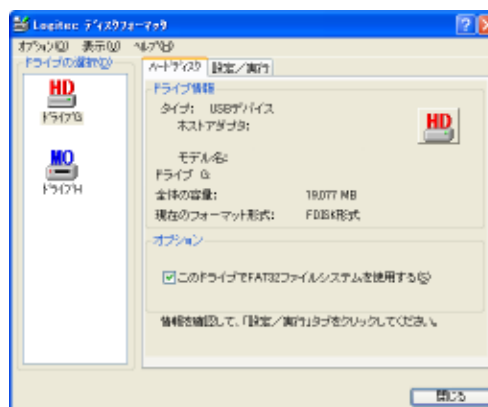
インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての)プログラム」 「Logitech」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitechディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ですべてインストールした場合)



また、デスクトップにショートカットが作成されますので、このショートカットアイコンをダブルクリックすることによっても起動可能です。



いずれの場合も、ディスクフォーマッタが起動すると、以下のようなメインウィンドウが表示されます。



ディスクフォーマッタを終了する場合は、右下の「閉じる」ボタンをクリックしてください。

⚠️ ご注意

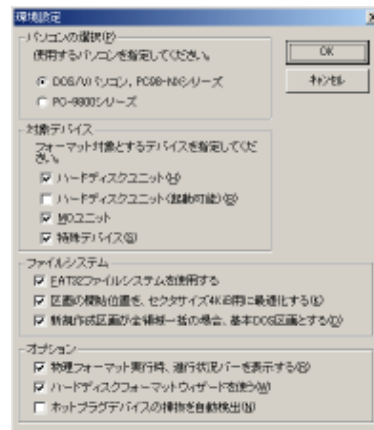
- ・ 「ドライブの選択」に表示されるアイコンリストはパソコンに接続されているハードディスク、MOユニットのリストですので、システム環境によって異なります。
- ・ 未フォーマットのハードディスクを検出した場合、フォーマットウィザードが起動します。

初期設定について

ディスクフォーマッタを初めて起動した際には、ご使用のシステム環境を確認する必要があります。「オプション」メニューの「環境設定」を選択してください。



右のようなダイアログボックスが表示されます。



パソコンの選択

ご使用のパソコン本体の機種を「DOS/V パソコン , PC98-NX シリーズ」もしくは「PC-9800 シリーズ」から選択してください。

通常は自動的に識別されますので、変更する必要はありません。

対象デバイス

メインウィンドウの「ドライブの選択」に表示される機器（フォーマット対象デバイス）を選択します。通常は、初期状態（「ハードディスクユニット」と「MO ユニット」をチェックした状態）でご使用ください。

「ハードディスクユニット（起動可能）」をチェックすると、システム起動可能な状態にあるハードディスクもフォーマット対象デバイスとして表示されますが、ドライブ指定の間違いなどを避けるため、通常はチェックしないでください。

「特殊デバイス」はトラブルシューティング用の項目です。一部の SCSI インターフェイスを使用していると、MO ユニットが特殊なデバイスとして認識されるため、ディスクフォーマッタの「ドライブの選択」に表示されなくなる場合があります。このような場合に、「特殊デバイス」をチェックすると MO ユニットが「ドライブの選択」に表示されます。

ファイルシステム

以下の2項目を選択することができます。

「FAT32」ファイルシステムを使用する

「FAT32」ファイルシステムを使用する場合は、「FAT32 ファイルシステムを使用する」のチェックボックスをチェックしてください。これをチェックすると、ハードディスクドライブやリムーバブルディスクのフォーマット時に、FAT32 ファイルシステムを使用する設定が可能になります。(リムーバブルディスクは640MB以上のMOメディアのみ)

区画の開始位置を、セクタサイズ4KiB用に最適化する
通常はチェックした状態でご使用ください。

新規作成区画が全領域一括の場合、基本DOS区画とする
通常はチェックした状態でご使用ください。

オプション

オプションとして以下の3項目を選択することができます。

物理フォーマット実行時進行状況バーを表示する

このチェックボックスがチェックされていると、物理フォーマット中に進行状況を示す棒グラフが表示されます。(フォーマット対象デバイスが、この機能をサポートしている場合のみ。)

通常は初期設定通り、チェックボックスをチェックした状態でご使用ください。物理フォーマットが実行できない場合のみこのチェックをはずしてお試しください。

ハードディスクフォーマットウィザードを使う

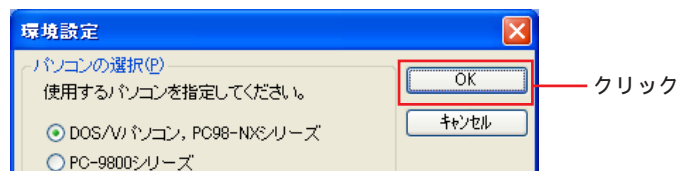
このチェックボックスがチェックされていると、ディスクフォーマット起動時に未フォーマットのハードディスクがパソコンに接続されている場合に、自動的にフォーマットウィザードが起動します。

通常は初期設定通り、チェックボックスをチェックした状態でご使用ください。

ホットプラグデバイスの挿抜を自動検出

このチェックボックスがチェックされている状態でホットプラグ対応の外付けデバイスを抜き差しすると、接続状態に応じてメインウィンドウ上のドライブ選択画面の該当ドライブの表示/非表示を切り替えます。
通常はチェックしないでください。

「環境設定」の設定を確認後、OK ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じてください。



ご注意

- ・ FAT32 をサポートしていない環境で、「FAT32 ファイルシステムを使用する」のチェックボックスをチェックすると、OK ボタンをクリックした段階でエラーメッセージが表示されます。Windows 95 の初期 / a バージョン（市販バージョン）では FAT32 ファイルシステムを使用することはできませんので、この場合チェックボックスのチェックを外してください。
- ・ ディスクフォーマットで FAT32 → FAT16 の変更を行う場合は、必ずフォーマットを必要とします。「このドライブで FAT32 ファイルシステムを使用する」のチェックボックスをチェックしただけで既存のハードディスクが FAT32 ファイルシステムに変更されるわけではありません。

ハードディスクをフォーマットする場合

- ・ ハードディスクをフォーマットする場合、用途に応じて以下のようなフォーマット方法があります。ここでは、これらのフォーマット方法を順番にご説明いたします。
 - ・ 既にフォーマットされているものを再フォーマット
「**1.再フォーマット**」を参照
 - ・ 未フォーマットのハードディスクをフォーマット
「**2.未フォーマットディスクのフォーマット**」を参照
 - ・ ハードディスクを複数の論理ドライブに分けてフォーマット
「**3.複数の区画に分けてフォーマット**」を参照
 - ・ フォーマット済みのハードディスクの初期化と削除
「**4.初期化と削除**」を参照

Point

ポイント

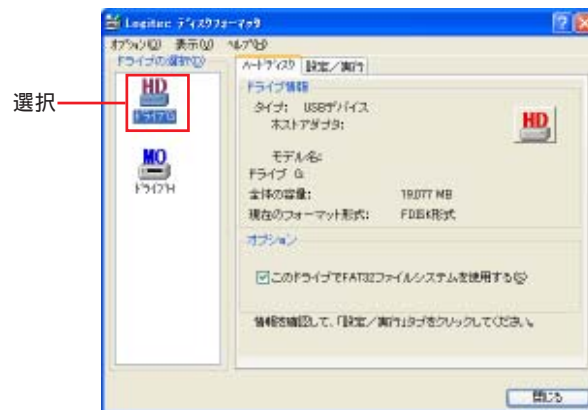
Windows Me、98、95、NT 4.0をご使用の場合、ハードディスクのフォーマットは最終段階でシステムを再起動する必要があります。ディスクフォーマットは他のアプリケーションが実行されていない状態で起動してください。

1. 再フォーマット

既に何らかのフォーマット形式でフォーマットされているハードディスクを再フォーマットする場合は、以下の手順をご参照ください。

再フォーマットを行うハードディスクをパソコンに接続して、Windows のシステムを起動し、ディスクフォーマッタを起動してください。

フォーマッタが起動して、以下のウィンドウが表示されます。「ドライブの選択」リストで、再フォーマットを行うハードディスクを選択してください。



選択したハードディスクに関する情報が表示されます。

また、FAT32 ファイルシステムを使用する場合は、「このドライブで FAT32 ファイルシステムを使用する」チェックボックスをチェックしてください。(このチェックボックスをチェックするためには、「オプション」メニューの「環境設定」で FAT32 ファイルシステムが使用できるように設定されていなければなりません。)



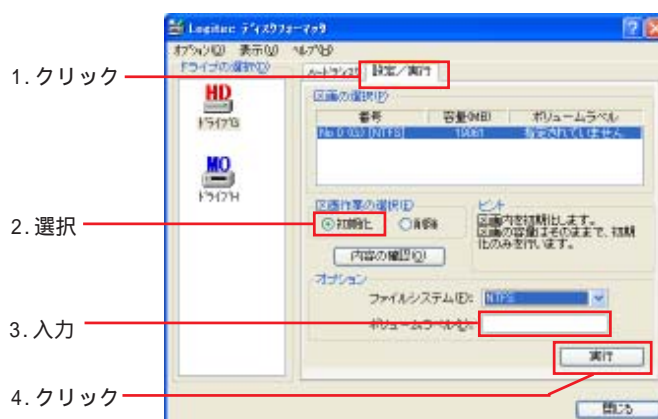
ご注意

- ・ 間違ったドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- ・ フォーマットを行うと、ハードディスクに保存されているデータはすべて消去されます。フォーマット対象のハードディスク内にデータが残っている場合、重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

ハードディスクをフォーマットする場

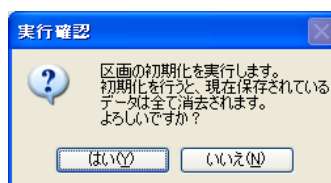
次に「設定/実行」タブをクリックしてください。

「区画作業の選択」で「初期化」のラジオボタンを「ON ()」にして、必要に応じて「オプション」で「ボリュームラベル」(ハードディスクの名前: 半角11文字以内/全角5文字以内の任意の文字列を入力可能)を入力し、「実行」ボタンをクリックしてください。



Windows 7、Vista、XP、2000 をご使用の場合は、オプションの「ファイルシステム」でフォーマット形式を「FAT16/32」または「NTFS」から選択することができます。必要に応じて選択してください。

確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもかまわないことを確認してから、「はい」ボタンをクリックしてください。

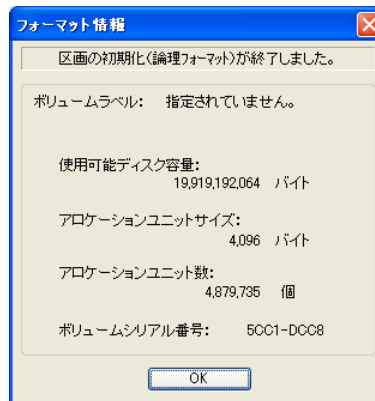


ご注意

フォーマットを行うと、ハードディスクに保存されているデータはすべて消去され、復旧することはできません。ドライブ指定の間違い等に十分ご注意ください。

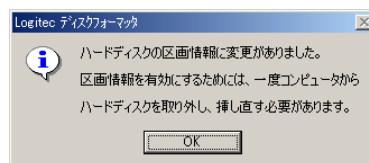
ハードディスクをフォーマットする場合

フォーマットが実行されます。終了すると以下のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



メインウィンドウに戻ります。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

- ・ Windows 7、Vista、XP、2000 では、これでハードディスクドライブが使用可能となります。マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。
- ・ Windows Me、98、95、NT 4.0 をご使用の場合は、以下のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてシステムを再起動してください。再起動後マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。



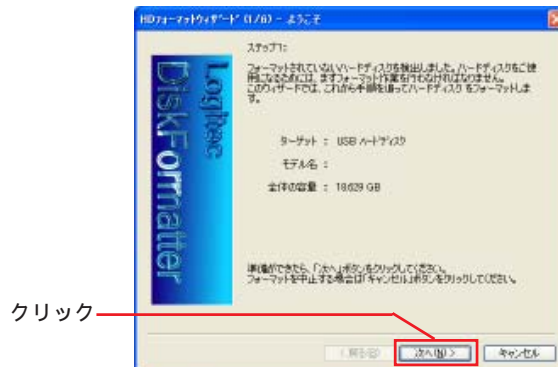
ポイント

ディスクフォーマットはWindows 標準の FDISK ユーティリティなどと異なり、ハードディスクのパーティション設定、論理フォーマットを一括して行います。そのため、ここで区画の初期化を行う必要はありません。

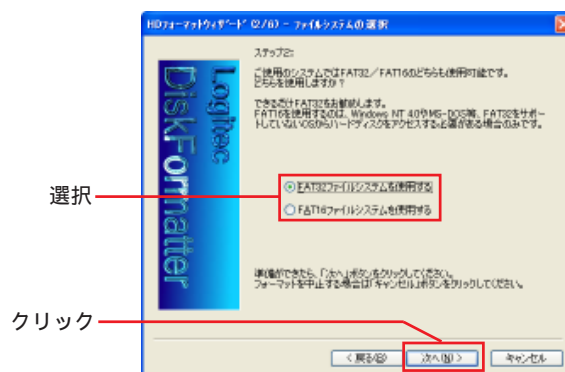
2 . 未フォーマットディスクのフォーマット

2 . 1 ウィザードを使用する場合

フォーマットを行うハードディスクをパソコンに接続して、Windows のシステムを起動し、ディスクフォーマッタを起動してください。フォーマットしていないディスクが接続されている状態でディスクフォーマッタを起動すると、以下のフォーマットウィザードが表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



ファイルシステムの選択画面が表示されます。通常は設定を変更せず「次へ」ボタンをクリックしてください。

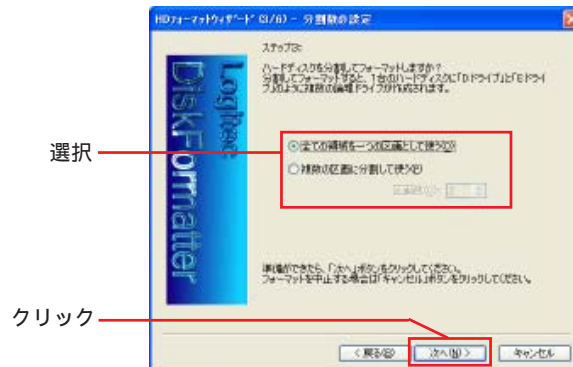


ハードディスクをフォーマットする場合

区画の設定画面が表示されます。

- ・ ハードディスクの領域を一つの区画として使用する場合は、「全ての領域を一つの区画として使う」のラジオボタンをON()にします。
- ・ ハードディスクの領域を複数の区画に分割して使用する場合は「複数の区画に分割して使う」のラジオボタンをON()にして、「区画数」を設定します。

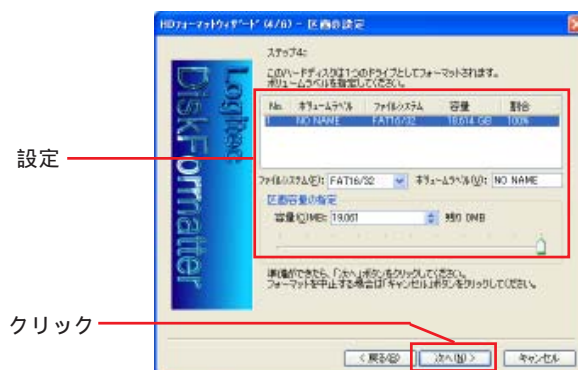
選択後、「次へ」ボタンをクリックしてください。



以下の画面が表示されます。

- ・ 1つの区画としてフォーマットを行う場合は、ボリュームラベルのみ入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- ・ 複数の区画に分割してフォーマットを行う場合は、中央の区画の一覧で各区画を選択し、それぞれ「区画容量の指定」で容量を指定します。

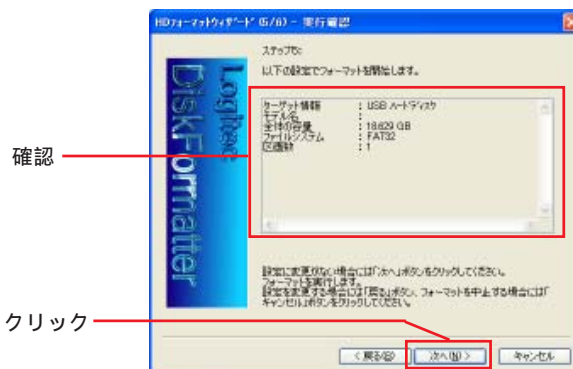
設定後、「次へ」ボタンをクリックしてください。



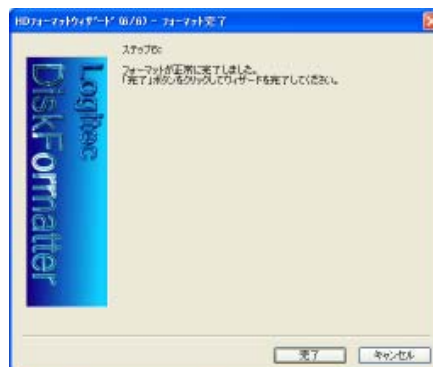
Windows 7、Vista、XP、2000 をご使用の場合、上の画面でファイルシステムをNTFS または FAT から選択できます。

ハードディスクをフォーマットする場

設定内容の確認画面が表示されます。内容確認後「次へ」ボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。



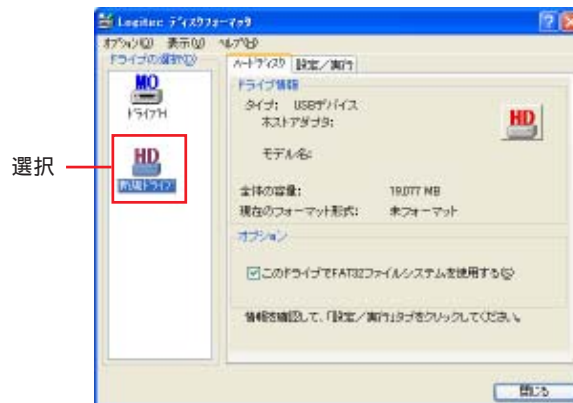
Windows 7、Vista、XP、2000では、「完了」ボタンをクリックしてください。これでハードディスクドライブが使用可能となります。マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。

Windows Me、98、95、NT 4.0では、上の画面内にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」のラジオボタンをON () にして、コンピュータを再起動してください。再起動後、ハードディスクが使用可能となります。マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。

2.2 ウィザードを使用しない場合

フォーマットを行うハードディスクをパソコンに接続して、Windows のシステムを起動し、ディスクフォーマッタを起動してください。

フォーマッタが起動すると、フォーマットウィザードが起動するので「キャンセル」ボタンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。フォーマットされていないハードディスクは「ドライブの選択」リストで、「新規ドライブ」と表示されていますので、これを選択してください。



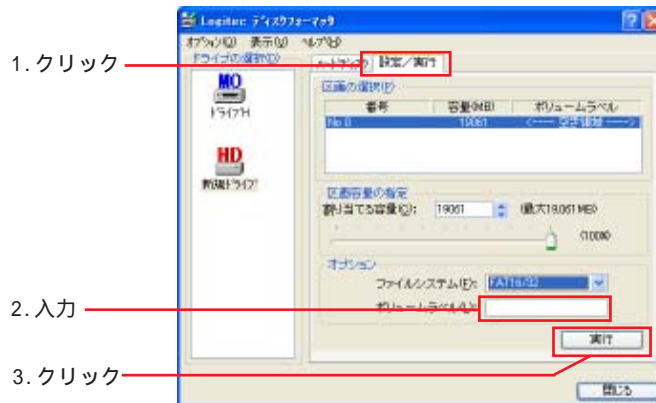
選択したハードディスクに関する情報が表示されます。フォーマットされていないハードディスクドライブの場合、「現在のフォーマット形式」に「未フォーマット」と表示されていることを確認してください。また、FAT32 ファイルシステムを使用する場合は、「このドライブで FAT32 ファイルシステムを使用する」チェックボックスをチェックしてください。（このチェックボックスをチェックするためには、「オプション」メニューの「環境設定」で FAT32 ファイルシステムが使用できるように設定されていなければなりません。）

ハードディスクをフォーマットする場

次に「設定/実行」タブをクリックしてください。

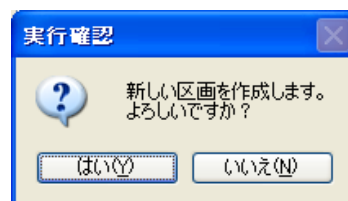
フォーマットされていないディスクの場合、すべての容量が「空き領域」として表示されます。ハードディスク全体を1つのドライブとする場合には、「区画容量の指定」を選択する必要はありません。

必要に応じて「オプション」で「ボリュームラベル」(ハードディスクの名前: 半角11文字以内/全角5文字以内の任意の文字列を入力可能)を入力し、「実行」ボタンをクリックしてください。



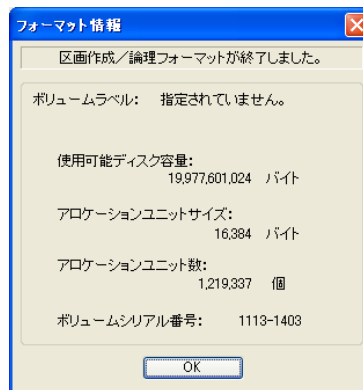
Windows 7、Vista、XP、2000 をご使用の場合は、オプションの「ファイルシステム」フォーマット形式を「FAT16/32」または「NTFS」から選択することができます。必要に応じて選択してください。

確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもかまわないことを確認してから、「はい」ボタンをクリックしてください。



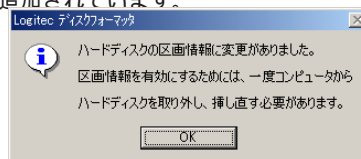
ハードディスクをフォーマットする場合

フォーマットが実行されます。終了すると以下のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



メインウィンドウに戻ります。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

- ・ Windows 7、Vista、XP、2000 では、これでハードディスクドライブが使用可能となります。マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。
- ・ Windows Me、98、95、NT 4.0 では、以下のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてシステムを再起動してください。再起動後マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。



ポイント

ディスクフォーマットはWindows 標準のFDISKユーティリティなどと異なり、ハードディスクのパーティション設定、論理フォーマットを一括して行います。そのため、ここで区画の初期化を行う必要はありません。

3. 複数の区画に分けてフォーマット

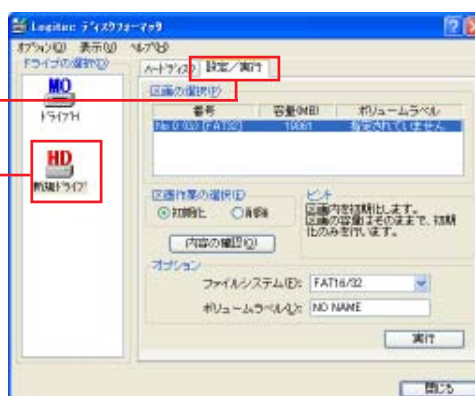
ハードディスクを2つ以上の論理ドライブとして分割してフォーマットする場合は、以下の手順に従ってください。

再フォーマットを行うハードディスクをパソコンに接続して、Windowsのシステムを起動し、ディスクフォーマッタを起動してください。

フォーマッタが起動したら、「ドライブの選択」リストで、分割してフォーマットを行うハードディスクを選択して、「設定/実行」タブをクリックしてください。

1. 選択

2. クリック



選択したハードディスクに関する情報が表示されます。

また、FAT32 ファイルシステムを使用したい場合は、「このドライブで FAT32 ファイルシステムを使用する」チェックボックスをチェックしてください。(このチェックボックスをチェックするためには、「オプション」メニューの「環境設定」で FAT32 ファイルシステムが使用できるように設定されていなければなりません。)

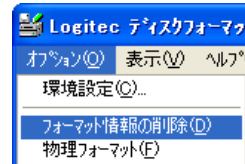


ご注意

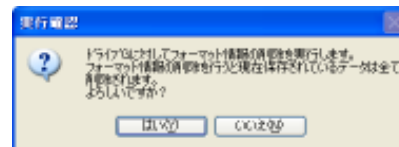
- ・ 間違ったドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- ・ フォーマットを行うと、ハードディスクに保存されているデータはすべて消去され、復旧することはできません。フォーマット対象のハードディスク内にデータが残っている場合、重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

ハードディスクをフォーマットする場合

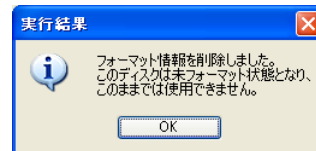
次にツールバーの「オプション」から「フォーマット情報の削除」をクリックしてください。
未フォーマットのハードディスクを使用する場合はこの作業は必要ありません。
手順へお進みください。



確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。

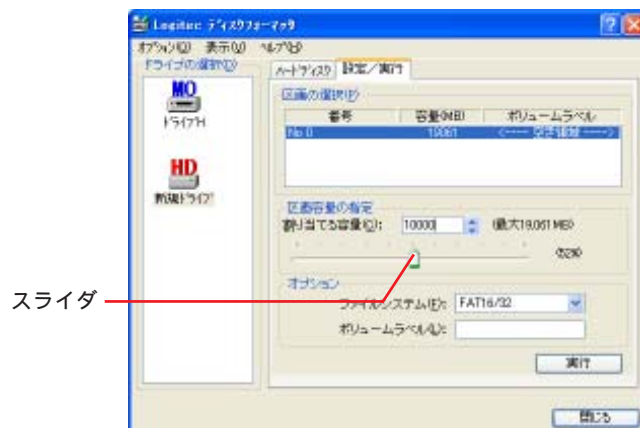


フォーマット情報の削除が行われ、終了すると右のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



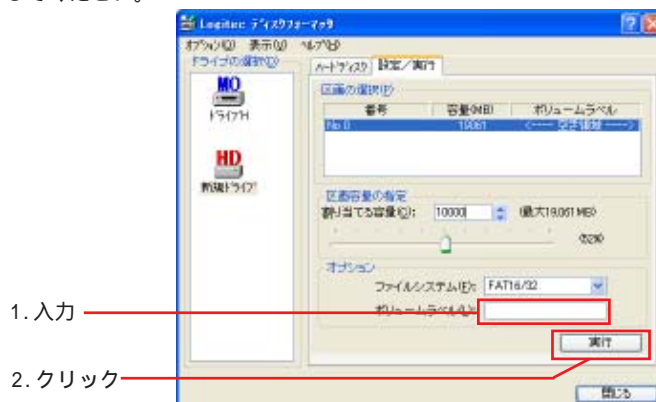
メインウィンドウに戻りますので「設定/実行」タブをクリックしてください。

新規のハードディスクをフォーマットする場合は、すべての容量が「区画の選択」に「空き領域」として表示されます。ここからまず最初のドライブとなる区画の容量を指定します。「区画容量の指定」で「割り当てる容量」を入力するか、スライダをドラッグして容量を指定してください。

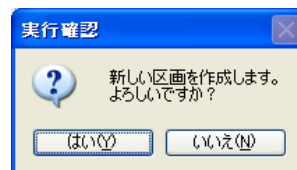


ハードディスクをフォーマットする場

容量の指定が終了したら、最初のドライブとなる区画のフォーマットを行います。必要に応じて「ボリュームラベル」(ハードディスクの名前: 半角 11 文字以内 / 全角 5 文字以内の任意の文字列を入力可能)を入力し、「実行」ボタンをクリックしてください。



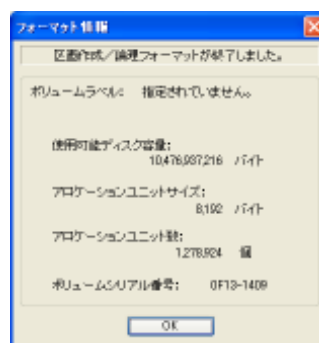
確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもよいことを確認してから、「はい」ボタンをクリックしてください。



ご注意

フォーマットを行うと、ハードディスク上のすべてのデータは失われ、復旧することはできません。ドライブ指定の間違い等に十分ご注意ください。

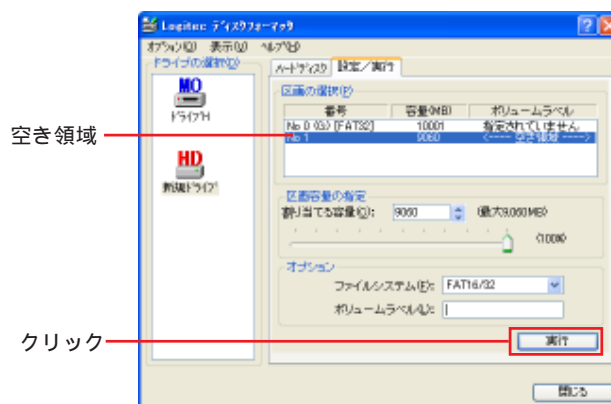
最初のドライブとなる区画のフォーマットが実行されます。終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、OK ボタンをクリックしてください。



ハードディスクをフォーマットする場合

メインウィンドウに戻ります。このドライブにはまだ「空き領域」が残っています。(下図の「区画の選択」の「No.1」を参照してください。)この空き領域は2番目のドライブとしてフォーマットすることができます。

空き領域を2番目のドライブとしてすべてフォーマットする場合は、「区画容量の指定」は変更しないで、そのまま「実行」ボタンをクリックしてください。



Point

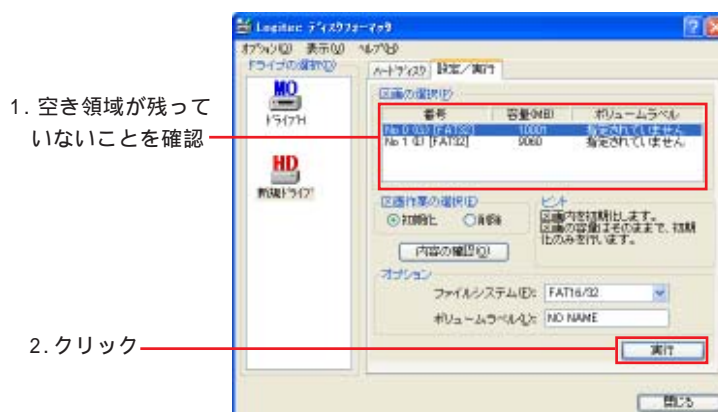
ポイント

もし、ハードディスクを3つ以上のドライブに分割する場合は、手順と同様に「区画容量の指定」で2番目のドライブの容量を指定してから、「実行」ボタンをクリックしてください。

~ 同じ手順で2番目のドライブのフォーマットを実行してください。

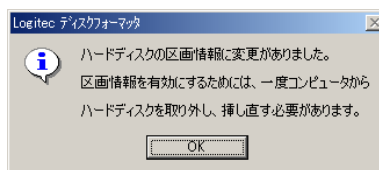
ハードディスクをフォーマットする場

メインウィンドウに戻ったら、「区画の選択」で「空き領域」が残っていないことを確認してください。確認が終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



Windows 7、Vista、XP、2000 では、これでハードディスクドライブが使用可能となります。マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。

Windows Me、98、95、NT 4.0 では、以下のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてシステムを再起動してください。再起動後マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されていません。

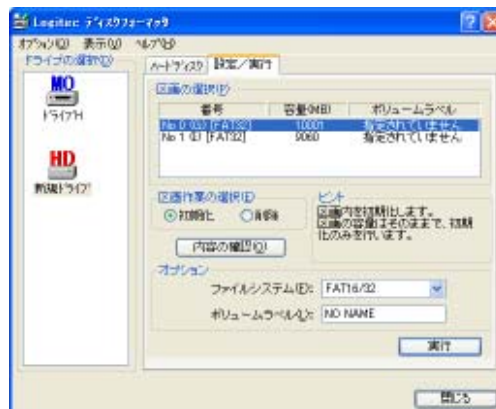


ポイント

ディスクフォーマッタはWindows 標準のFDISKユーティリティなどと異なり、ハードディスクのパーティション設定、論理フォーマットを一括して行います。そのため、ここで区画の初期化を行う必要はありません。

4. 初期化と削除

ディスクフォーマッタを起動し、「ドライブの選択」からすでにフォーマットされているハードディスクを選択して、「設定/実行」タブをクリックすると、以下のようなウィンドウが表示されます。



タブ内の区画作業の選択では「初期化」と「削除」の2つのオプションが選択可能となっています。それぞれ以下のような意味があります。

初期化

選択された区画（論理ドライブ）に保存されたデータをすべて削除して、フォーマット直後の状態に戻します。ただし、区画自体はそのまま残ります。

削除

すでに作成されている区画（論理ドライブ）自体を削除してその分の容量を「空き領域」に戻します。

ハードディスクをフォーマットする場

区画（論理ドライブ）の「初期化」/「削除」を行う場合は、以下の手順に従ってください。

前ページのウィンドウから「区画の選択」で「初期化」/「削除」する区画を選択します。

「区画作業の選択」で「初期化」、または「削除」のラジオボタンを選択してON () にします。

「実行」ボタンをクリックし、表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。



ご注意

- ・「初期化」/「削除」はどちらも選択された領域に保存されていたデータをすべて消去します。データが保存されている領域を「初期化」/「削除」する場合は、データをバックアップしてから作業を行ってください。
 - ・フォーマット直後の区画は、「内容の確認」が実行できない場合があります。
 - ・ドライブの最後の区画以外の区画を「削除」すると、そのドライブに不連続な「空き領域」ができる場合があります。このような空き領域を1つの区画としてまとめることはできません。
 - ・FAT16 ファイルシステムでフォーマットされた区画を「初期化」して、FAT32 ファイルシステムに変更することは可能ですが、この逆はエラーとなります。もし、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされた区画をFAT16 ファイルシステムにしたい場合は、一度その区画を「削除」して、できた「空き領域」から新規の区画を作成してください。
-

M0 メディアをフォーマットする場合



ATAPI (E-IDE) の M0 ユニットをご使用の方へ

Windows 上で ATAPI (E-IDE) の M0 ユニットを使用し、ディスクフォーマッタで M0 メディアのフォーマットを行う場合、ATAPI (E-IDE) インターフェースのドライバのバージョンが古いと、以下のような問題が発生する場合があります。

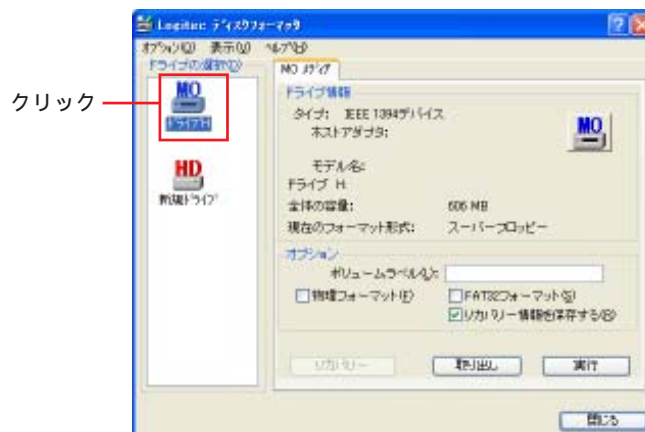
- ・ リムーバブルディスクの物理フォーマットを行うとエラーが発生する。
- ・ ディスクフォーマッタ上からドライブが認識されない。

上記のような問題が発生した場合、パソコン本体のメーカー（もしくはマザーボードメーカー）に、最新のドライバの入手方法をお問い合わせください。一部、旧タイプのパソコン本体では、ドライバのバージョンアップを行っても不具合が解消されない場合や、ドライバが供給できない場合もあります。このような場合には Windows 標準の手順（リムーバブルディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択する）でフォーマットを行ってください。

1. フォーマット手順

Windows のシステムを起動し、ディスクフォーマッタを起動してください。

ディスクフォーマッタが起動して、以下のウィンドウが表示されます。「ドライブの選択」リストからフォーマットを行う MO ドライブのアイコンをクリックして選択してください。



Point

ポイント

MO メディアが 2 台以上接続されている場合は、アイコンが 2 個以上表示されま
す。この場合、アイコンの下に表示されているドライブ名で区別してください。

選択したドライブに、フォーマットする MO メディアをセットしてください。

MO メディアをフォーマットする場合

オプション項目を指定します。

「ボリュームラベル」はMOメディアに付ける名前です。必要に応じて半角11文字以内/全角5文字以内の任意の文字列を入力してください。

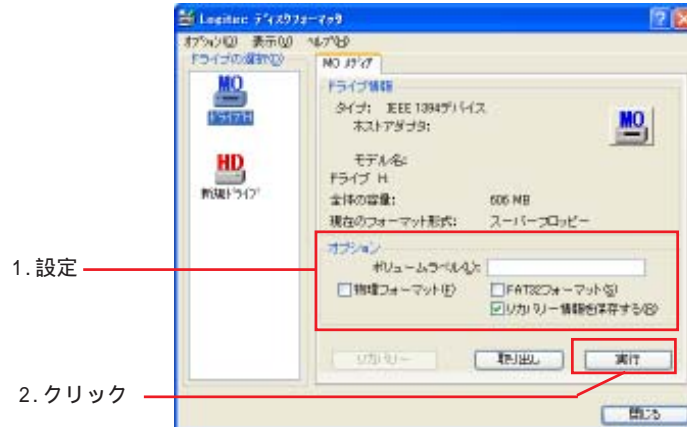
「物理フォーマット」のチェックボックスは新規購入したMOメディアや、トラブルが発生したMOメディアをフォーマットする際にチェックしてください。

「FAT32 フォーマット」のチェックボックスは640MB / 1.3GB / 2.3GBのMOメディアのみで使用することができます。これをチェックした状態でフォーマットを実行すると、MOメディアはFAT32ファイルシステムでフォーマットされます。

「リカバリー情報を保存する」のチェックボックスにチェックを入れておくと、誤って必要なデータが保存されていたMOメディアをフォーマットしてしまった際に、データのリカバリー（復元）を行うことができます。ただし、フォーマット後にメディアに新しいデータの書き込みを行ってしまった場合は、リカバリー（復元）を行うことはできません。

また、「物理フォーマット」をチェックした場合は「リカバリー情報を保存する」をチェックすることはできません。

すべての設定が終了したら、「実行」ボタンをクリックしてください。

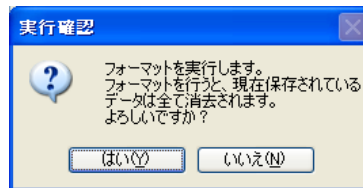


ご注意

「物理フォーマット」を行うと、約15～30分ほどかかります。

M0 メディアをフォーマットする場合

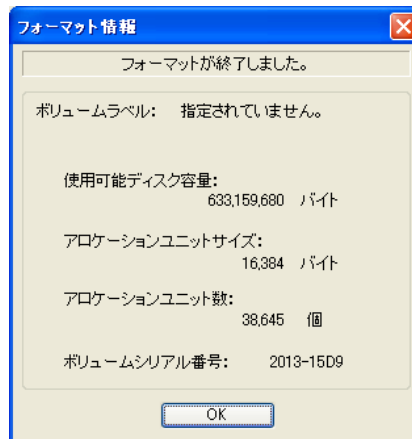
確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもよいことを確認したら、「はい」ボタンをクリックしてください。



ご注意

フォーマットを行うと、ディスク上のすべてのデータは消去され、元に戻すことは保証できません。特にデータを書き込んだディスクをフォーマットする場合には、ディスクに間違いがないか十分ご注意ください。

フォーマットが開始されます。終了すると、以下のようなウィンドウが開きます。「OK」ボタンをクリックすると、メインウィンドウに戻ります。フォーマットを終了する場合は、メインウィンドウで「閉じる」ボタンをクリックしてください。



以上で M0 メディアのフォーマットは終了です。

2 . リカバリーについて

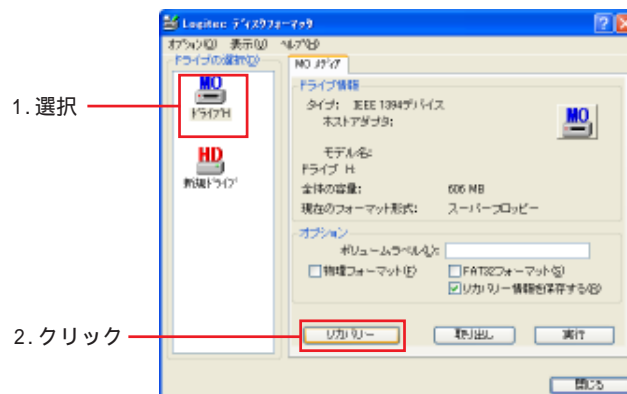
誤って、データが保存されている MO メディアをフォーマットしてしまった場合、以下の手順でデータのリカバリー（復元）を行うことができます。



ご注意

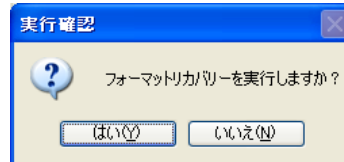
- ・この方法で、リカバリーを行っても、データが完全に元に戻ることを保証するものではありません。
- ・データのリカバリーは、FAT 形式でフォーマットした MO メディアのみ有効です。物理フォーマットを行った場合はリカバリーを行えません。
- ・また、フォーマット後に該当メディアに新しいデータを上書きしてしまった場合は、リカバリーできませんのでご注意ください。

ディスクフォーマッタを起動してください。以下のウィンドウが表示されます。「ドライブの選択」に表示されているアイコンのうち、リカバリーを行う MO メディアがセットされている MO ドライブのアイコンを選択し、「リカバリー」ボタンをクリックしてください。

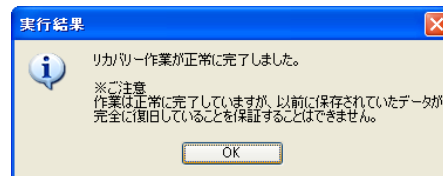


M0 メディアをフォーマットする場合

右のメッセージが表示されます。
「はい」ボタンをクリックしてください。



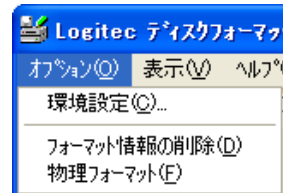
リカバリーが実行され、以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



以上で、リカバリーは完了です。マイコンピュータやエクスプローラ上から該当メディアにアクセスし、データをご確認ください。

メニューについて

オプションメニュー

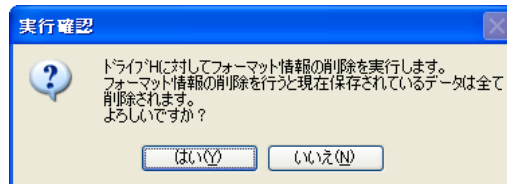


環境設定

ディスクフォーマッタの環境設定を行います。詳細については「起動と初期設定」をご参照ください。

フォーマット情報の削除

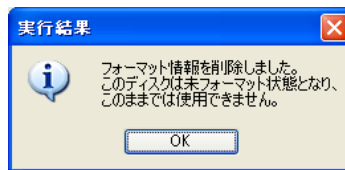
このコマンドはトラブルが発生したハードディスク / MO メディアのフォーマット情報を削除して、「未フォーマット」の状態に戻します。これを行う場合は「ドライブの選択」でフォーマット情報を削除したいドライブを選択してから、このコマンドを選択してください。以下のようなメッセージボックスが表示されます。



ご注意

- ・「フォーマット情報の削除」を行うと、選択したドライブに保存されたデータはすべて消去され、復旧することはできません。十分ご注意ください。
- ・フォーマット情報の削除は、物理ドライブ（1台のハードディスク全体）に対して行われます。分割したハードディスク（例えばドライブE:とドライブF:）に対して実行すると、すべてのドライブのフォーマット情報が削除されますのでご注意ください。

前ページのウィンドウから「はい」ボタンをクリックすると、選択されたドライブのフォーマット情報が削除され、以下のウィンドウが表示されます。

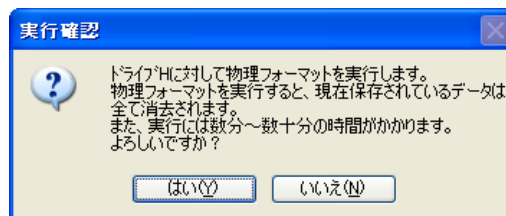


OK ボタンをクリックして、フォーマット情報を削除したドライブの再フォーマットを行ってください。

物理フォーマット

このコマンドはトラブルが発生したハードディスクを物理フォーマットからやり直します。実行する場合は「ドライブの選択」で物理フォーマットしたいハードディスクを選択してから、このコマンドを選択してください。以下のようなウィンドウが表示されます。

物理フォーマットをサポートしているのはSCSIハードディスクのみです。



ご注意

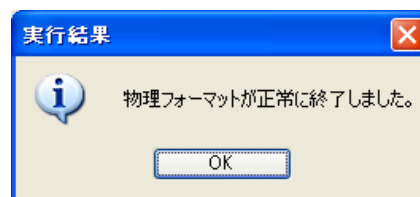
- ・「物理フォーマット」を行うと、選択したハードディスクに保存されたデータはすべて消去され、復旧することはできません。十分ご注意ください。
- ・リムーバブルディスクはフォーマット時に物理フォーマットの実行を指定することができます。オプションメニューから行う必要はありません。



ご注意

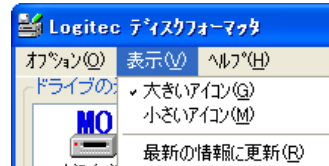
物理フォーマットは、物理ドライブ（1台のハードディスク全体）に対して行われます。分割したハードディスク（例えばドライブE:とドライブF:）に対して実行すると、すべてのドライブが物理フォーマットされますのでご注意ください。

前ページのウィンドウから「はい」ボタンをクリックすると、選択したハードディスクに対して物理フォーマットが実行されます。物理フォーマットが終了すると、以下のメッセージが表示されます。



「OK」ボタンをクリックしてから、物理フォーマットの終了したハードディスクに対して論理フォーマットを行ってください。

表示メニュー



大きいアイコン

「ドライブの選択」に表示されるアイコンを大きいアイコンで表示します。

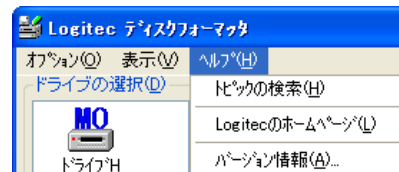
小さいアイコン

「ドライブの選択」に表示されるアイコンを小さいアイコンで表示します。
設定可能ドライブが5台以上認識されている場合に便利です。

最新の情報に更新

接続されている機器の情報を最新のものに更新します。

ヘルプメニュー



トピックの検索

ディスクフォーマッタのヘルプを表示します。

Logitecのホームページ

弊社のホームページ (<http://www.logitec.co.jp/>) をブラウザで表示します。
この項目を使用するためには、システムにブラウザがインストールされ、インターネットに接続できる状態になければなりません。

バージョン情報

ディスクフォーマッタのバージョン情報を表示します。

アンインストール方法

「Logitech ディスクフォーマッタ」をアンインストール(削除)する場合は、以下の手順をご参照ください。



参考

「アンインストール」とは、ある特定のプログラムをWindowsのシステムから削除する作業です。

Windows XP, 2000, NT 4.0 をご使用の場合はアンインストールを行う際、管理者権限をもつユーザ(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)としてログオンしている必要があります。

Windows 7、Vista をご使用の場合はアンインストールを行う際、管理者アカウントの許可(パスワード)が必要です。

「Logitech ディスクフォーマッタ」が起動している場合は、終了します。

コントロールパネルを開きます。

Windows 7、Vista、Windows XP の場合

「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」を選択します。

その他のOS

「スタート」ボタンをクリックして「設定」「コントロールパネル」を選択します。

「コントロールパネル」の中から作業を選択します。

Windows 7、Vista

「プログラムのアンインストール」をクリックして起動します。

Windows XP

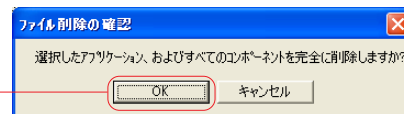
「プログラムの追加と削除」をダブルクリックして起動します。

その他のOS

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックして起動します。

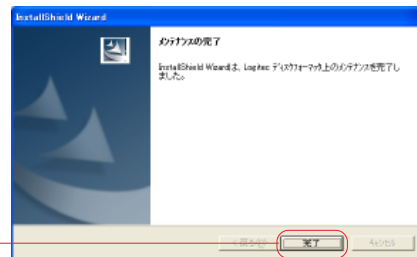
「ファイル削除の確認」メッセージボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。

「OK」ボタンをクリック



アンインストールが完了すると、以下の画面が表示されます。「完了」をクリックして終了してください。

「完了」をクリック



以上でアンインストールは完了です。

お問い合わせについて

本ソフトウェアに対する技術的な質問や、オンラインマニュアルに対するお問い合わせは弊社「テクニカルサポート」までお願いします。FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

ホームページアドレス : <http://www.logitech.co.jp/>
サポート URL : 6409.jp

ご注意：

ホームページ上でのサポートは行っておりません。
また、メールでのお問い合わせへの回答も行っておりませんのでご了承ください。



Logitech ディスクフォーマッタ
ユーザーズガイド (オンラインマニュアル)

2010年 11月改定 DSKFMT VP07
製造元：ロジテック株式会社
